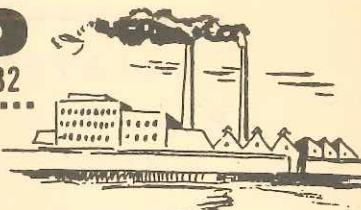


シルバーだより¹⁹⁹⁰ NO.32

◆発行 社団法人 所沢市シルバー人材センター

所沢市宮本町1-1-2

☎ 0429(28)8695~6



平成2年度定期総会開かれる!!



(社)シルバー人材センター高齢者事業団（増村敏雄理事長）では、25日午後2時から旧庁舎で今年度の総会を開催した。

この日の定期総会ではまず開会のことばにつづいて増村理事長があいさつ。

つづいて中井市長、来賓の各県議らがあいさつした。

議事では、昨年度の事業報告・同収支決算および財産目録の承認、監査報告、今年度の事業計画案・同予算案、定款の一部改正、役員の選任について審議し、いずれも承認された。

このうち、今年度の事業計画案ではまず基本計画として「最近は事業実績が伸び悩みの傾向にあることから今年度は、この対策としてセンターの普及啓発等あらゆる機会にお一層の努力をするとともに、これと並行して会員の増強をはかり、さらに運営体制の充実に努力する」と述べている。

実施計画の主なものはつぎのとおり。

★啓蒙普及

さまざまな形をとて市、各事業所の理解が得られるよう努力し、市役所・公民館等を利用し写真の展示、パンフの配布、さらに市民フェスティバル等に参画

し、健康で働く意欲のある会員の増強をはかる。

★開拓と就業機会の確保

会員の希望条件を把握し、開拓と就労の確保をはかる。

★運営体制の確立

地区懇談会、地区委員会等の活動を通じて情報交換と就業に関する調査研究につとめるなど。

★研修・講習

実技（植木・清掃・介護・料理）を主とした講習会を実施し会員の能力開発と技能の向上及び後継者の育成をはかるなど。

★婦人部の充実・強化をはかるとともに、就業意欲の向上につとめる。

★会員の健康管理のため定期的に血圧測定、健康相談をおこなう。またレクリエーションなどの実施により体力向上につとめる。

なお、今回永い間事業団の運営等にご協力いただいた次の方々に感謝状と記念品が贈られた。

理事一斉藤 謙・地区委員一谷 良昌・事務局職員一山川裕二、丹沢桂子

★次の方々が役員に選任されました。

顧問 中井眞一郎

理事長 増村敏雄

副理事長 大河原正一

" 稲葉猛夫

専務理事 大野敬司

西窪 治

理事 中島三木三

" 山本綾子

" 高橋義男

" 伊東雄幸

村松順四郎

理事 長野瑞穂

" 石田道男

" 金子光子

" 大館甚平

" 新井寛治

理事 鈴木茂男

" 鈴木望夫

" 田畠作二

" 北田儀造

" 北田久弥

監事 細谷忠平

" 大谷信子

内職の楽しみ

松井地区 後藤 英二

いつもきまって海苔巻お握り3個の弁当を提げて今日もG氏はいそいそとシルバーパートナーへ「内職」に出かける。

本職の片手間にする仕事を「内職」と云うなら、これはいまや彼の「本職」なのである。ほんやりと家にいてボケ老人になられては困ると家族は心配しても、当の本人は人生のゴールはまだまだ先だと思っているようだ。とは言うが、古稀を過ぎて最近めっきり足腰が衰えた彼は、気持は未だ若いつもりでいても駅前から宮本町までの道を仲良しのYさんの優しい介護の手に頼ることもあるようだ。

事務所に挨拶の声を掛けて内職室に入ると顔馴染が2、3人来ている。多い日は7、8人にもなることがある。彼はいま某百貨店のネクタイ袋を作っている。ほかにもっと歩のいい作業もあるのだが、彼はこの袋貼りが気に入って、一枚一

枚楽しみながらやっている。頭脳の指令通りに指先が動くうちは「ボケ」の心配はないと彼は信じている。仲間に仕事が丁寧だと褒められるが、裏を返せば仕事が鈍いと云うことだ。それは意に介せず、少いながらの配分金を貯めて、いつかYさんと旅行をしたいものだと思っていると言う。

センターの内職に通つての楽しみは、気の合つた人たちと一緒に手を動かしながら話をしたり聞いたりすることだそうだ。よく旅行をするNさんの体験談を中心に話の花が咲く。



お昼前のお茶と午後のお八つ時のコーヒーは事務所のT女史がサービスしてくださいます。クッキーかケーキでも添えられているときはもう最高だ。専務理事のOさんがこの楽しい語らいの輪に入られたりして一層賑やかになる。日頃こんな話の聞き役で、ただ黙々と自動車のエンジン部分の仕事をこなしている真面目なSさんの、女を泣かした話、泣かされた話等々たくまざるユーモアになごやかな笑声が湧くのである。

通院介護の仕事にとりくん

中央地区 伊藤義雄

これまで仕事一筋病気一つしたことのない56才のTさんが、運動神経をやられ身体障害になって入院したのが今から2年前。その後通院できるまでに快復しましたが再び病状が悪化し、今では足腰の自由を奪われほとんど寝たきりになってしましました。Tさんは今奥さんと一人娘のお嬢さんと3人暮します。

このたび事業団から通院介護の誘いの言葉をいただきました。未経験、その他の理由からつい消極的になってしまいました。この際一つ発想の転換でもしてやれと自分にいい聞かせ、自信はありませんがお受けいたしました。

当日はあいにく小雨模様の空でした。事前にTさん宅を訪れ、自己紹介を兼ねて作業分担などをきめていただいていたので、気持のうえで多少ゆとりを持つことが出来ました。寝室からタクシーに乗せるまでの歩行援護は、不慣れのためつい固くなってしまいました。さいわい近くの大学生（男性）が手を貸してくれ、難なく最初の作業をクリヤーすることができました。私の高齢を憂慮してか娘さんまで一緒に付添ってくれたこともあって、タクシーの乗降・車椅子の使用など、その後の付添い介護は思ったよりスムーズに行うことができました。

萩山の国立武藏病院玄関でTさんを車椅子に乗せ帰りのタクシー待ちをしてると、スープと実車のタクシーが入ってきました。車内から初老の婦人が出てきて、運転手と2人で車内に横になっている主人らしい男性を車椅子に移しかえよ

うとしているが仲々乗せられず、Tさんの娘さんが協力して3人掛けやっと乗せることができました。これを見ていた奥さんが「今まで私も1人で同じようなことをやってきました。それが心細くて」と一言ポツリと私に洩らしました。その言葉が印象的でいつまでも私の耳に残りました。

2時間40分で通院介護の仕事は終りました。短い一瞬の時間でした。「心細さ」にこたえるだけの頼り甲斐のある介護サービスができたかどうか、自信はありません。しかし事業団でこれまでいろいろの仕事をさせていただいておりますが、仕事を了えた後の充実感、幸福感をこれほど強く感じたことははじめてです。

今、日本は世界でも例をみないほどのスピードで進行する高齢化のうねりのなかで、在宅福祉サービス、介護がますます重要となってきています。わたくした



ち健康な高齢者はこれからは若い人に支えられるのではなく、若い人とともに福祉の担い手として病弱、寝たきり、痴呆性の老人の在宅介護、援助、付き添い、時には良き話し相手となり、また若い共働きの家庭のニーズに応じた育児や家事援助サービスに、積極的にかかわってゆきたいと思っています。その仕事がたとえテレビのコマーシャルのような福祉のすき間をうめるような短い時間の仕事であっても、みんなでこれを広げてゆけばきっと大きな力となると思います。会員の皆様、男性・女性を問わず福祉サービスという仕事の開拓に汗を流してみようではありませんか。

冬の日に背中を向けて床屋かな

草餅の色も香りも母の味

花一片舞込む窓や書道会

道南へまた心してリラの花

今摘みしハウス苺の瑞瑞し

にぎあいてハウスの苺狩にけり

苺狩り武甲をつつむ薄き雲

藤花の庭に流れの影をさけ

新茶入れ指の粗忽に大あわて

献血に並ぶ若者夏めける

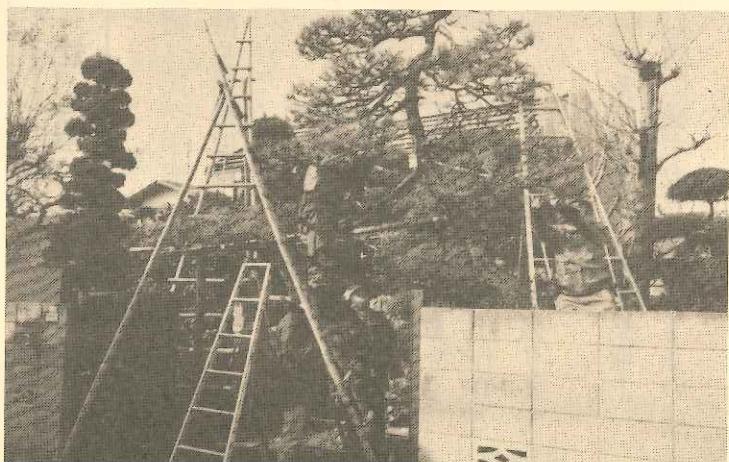
センターで 次のような仕事を希望する会員を探して
あります。希望者は今すぐお申込みを!!



← 仲よく除草作業 ↓



植木の剪定作業 ← ↓



ご苦労さまでした!!

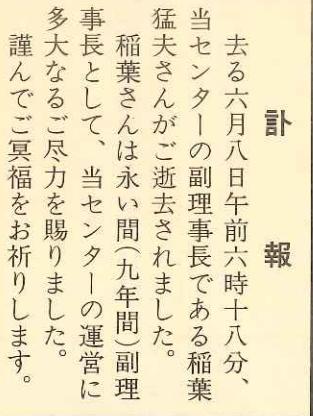
平成元年度事業実績総額 221,436,407円でした。

◆平成2年度会員親睦旅行は、9月25日(火)・26日(水)、五浦温泉に決まりました。まだ若干の欠員がありますので希望者はお早めにどうぞ!!

◆婦人部講習会について

7月20日(金)と27日(金)、午後1時30分より各10名ずつ七宝焼教室を開催します。希望者は20日・27日のいずれかを選んで事務局へお申込下さい。材料代1,000円位ご負担願います。

尚、当日エプロン、コップ、ティッシュペーパー等をご持参下さい。



▼配分金支払日に取りに来ない人が多くいます。事務整理上、困っています。支払日から五日以内に必ず取りに来て下さい。

◆この度事務局次長のポストに付くことになりました。責任を感じると共に尚一層の努力と皆様の協力を願いし、地域住民・会員の皆様に頼りになるシルバー人材センター作りと会員の方々のニーズを十二分に満足していただくよう頑張ります。

おめでとう!! 業務係長山川裕二氏が平成二年四月一日付で事務局次長心得並業務係長に昇格されました。
今後の期待を乞う。



お知らせ板

暑い日がやつて参りますので
健康に充分気をつけて頑張りましょう。
俳句・短歌・雑感等をお待ち
しております。